# ~大津緑洋高校生2名が職場体験に来られました~

6月9日、山口県立大津緑洋高校(大津校舎)の2年生2名が 当センターへ職場体験に来られましたので、ご紹介します。

これは、大津緑洋高校の学習カリキュラム「総合的な探求の時間」の一環で行われている取り組みです。

### 【座 学】

○まず座学により、山口県の漁業の概要や水研センターの業務内容、本日の実習の事前学習を行いました。



○南野室長による「山口県の漁業 の概要と水研センターの役割」に ついて

○廣畑専門研究員による「漁業調査船かいせいによる海底地形調査」について



○柿並技師による「重要赤潮貝 毒プランクトン」について



○國森専門研究員から「キジハ タの寄生虫駆除 | について

#### 【実習】

#### ○生物測定等の見学



○ちょうど、海洋資源グループ がメジナの耳石、鱗の採取作業 中だったので、見学させてもら いました。

○ちなみに、耳石、鱗はメジナ の年齢査定に用い、今後の資源 評価・管理に利用します。



○女性職員がメジナの頭部から 巧みに耳石を採取する様子を熱 心に観察する生徒たち

#### ○施設見学



○バイテク研究棟内でシロアマ ダイ種苗生産中の様子を見る生 徒たち

※防疫の観点から関係者以外立 ち入り禁止のため、施設の外か ら中を窺がっています。



○飼育研究棟内の水槽に試験的 に飼育しているウマズラハギ、 ナマコ、ガンガゼ、キジハタの 説明を受ける生徒たち

### 〇キジハタの寄生虫駆除 (淡水浴)



○水槽内のキジハタをタモで 掬う生徒



○100リットルの水槽に水道 水を満たし、キジハタ4尾を投 入しました。

○キジハタの様子を見ながら、 約10分間淡水浴を行いました。



○水槽内のキジハタを取り除き、 排水を細目のネットで受ける生 徒たち

○このネット内に溜まったもの を後で顕微鏡で観察します。

○採水(赤潮モニタリング)



○柿並技師から透明度、採水・ 水温測定、水色の見方等の観測 方法や記帳のレクチャーを受け る生徒たち



○レクチャーを受け、採水器で 採水をする生徒



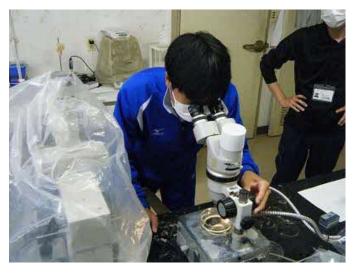
○水色盤(色見本)と海面の水 色を見比べる生徒

## ○検鏡



○キジハタの淡水浴で回収した 水と採水器で採水した海水を顕 微鏡で観察します。

○それぞれスポイトでプレパラート上にのせます。



○淡水浴で駆除した結果は如何 に?



○マハタハダムシ (単生類) が 確認できました!

〇右下(体後端)の固着盤と左上(体前端)の口前吸盤(1 対)でキジハタの体表に強固に 吸着します。



○採水した海水には、赤潮プランクトンは確認できませんでした。

○珪藻の仲間が確認されました。

#### 【生徒さんによるインタビュー】

○最後に、生徒さんから当日指導に当たった國森、柿並両職員に対し、 インタビューが行われました。

※この日、大津緑洋高校大津校舎2年生78名が、長門市内企業を中心に、各自の将来の希望に合わせて仕事の現場に出かけ、直接観察したこと、働く人へのインタビューをもとに「Discover Nagato ここにある仕事」として記事にまとめ、公開する予定とのこと。



○趣味やこの職場を選んだ理由、仕事のやりがい、苦労、 今後、取り組みたいこと等の 質問がありました。



○「今後とも、山口県の水産 業の発展のため、少しでも水 産関係者の役に立つ研究を 行っていきたい。」ときっぱ り回答する柿並技師と國森専 門研究員。